



一般社団法人全国スーパー・マーケット協会 横山清 会長 新年挨拶

新年特別号 第二弾

明けましておめでとうございます。
日頃よりスーパー・マーケット業界の発展と協会活動に
ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

■米不足問題

振り返りますと 2025 年は、米の品薄が続き、各社で輸入米も含めた調達に奔走する中で政府備蓄米が放出されましたが、我々スーパー・マーケット等への入荷が遅れ、随意契約による売り渡しが実施されました。小売各社は玄米で最小 10 トンからの相当量を待ち望むお客様に提供でき、食生活の要となる主食の供給に寄与できました。しかし、新米流通が潤沢な今も価格は高止まりしています。

米は、その価格形成も生産・流通コストに着目したプロダクトアウトの考え方を押し進める動きとなっていますが、現状では、お客様である国民が納得して購入する価格とは言い難い面があります。米だけでなく、あらゆる商品に、お客様が納得してお求めいただける「納得価格」の実現を、行政と製配販で取り組んでいく必要があります。

■地方創生とスーパー・マーケットの役割

昨年は政治も大きく動き、年後半は円安が進行しました。賃上げが進むものの国民の手取りが増えず、商品価格をはじめ様々なコスト上昇が続き、小売業は大変厳しい状況が続いています。政府は今後 10 年間を見据えた「地方創生 2.0 基本構想」を閣議決定しましたが、地方の活力を取り戻し、コメをはじめとする食料生産が安定的に行われることで、食料安全保障の実現、そして里山の保全につながり、大きな問題となっているクマの出没も抑えられると考えます。

地域に根差したスーパー・マーケットは、生鮮・惣菜をはじめ豊かな食品を提供するライフラインとして健康で充実した生活を支え、また地域文化の継承、コミュニティ、地域循環経済においても重要な役割を担っています。今後も全国各地で営業を継続し、使命を果たせますよう、関係各位のご協力をお願い申し上げます。

■第二次流通革新

昨年は、総合スーパーの経営主体に変更がみられ、私の地元、北海道でも撤退が相次ぎました。店舗数は減少せず、そこに新たな小売企業が展開、価格訴求とともにエリアを拡大しています。まさに「第二次流通革新」と言うべき現況であり、国民の節約志向と相まって「新価格体系」の形成が進むと見てています。この



一般社団法人
全国スーパー・マーケット協会
会長 横山 清氏

大きなうねりを乗り越えるためには、積極的に考動し経営を磨かなければなりません。当協会もサポート活動を推進してまいります。次代の経営幹部を育成し交流を広げる「コーネル大学 RMP ジャパン」、会員各社の優良事例を共有する「改善活動普及委員会」、従業員のスキルアップ・知識向上を図る資格検定「S 検」を実施、今後も教育研修プログラムの充実を図ります。

■「スーパー・マーケット・トレードショー」60回

そして、今年も 2 月に商談展示会「スーパー・マーケット・トレードショー」を開催いたします。当商談展示会では、開催 60 回目の記念企画を実施、また市場が伸長し物流効率化や食品ロス削減も期待される「冷凍」をピックアップし提案します。「デリカテッセン・トレードショー」では恒例の「お弁当・お惣菜大賞」受賞商品展示など、惣菜部門の進化をサポートします。併せて人材採用・定着、省人化・省力化、物流課題解決、生産性向上などに寄与する提案を発信し、ビジネスチャンス拡大の場を提供します。「第二次流通革新」時代に向かい、力強く進む皆様をサポートすべく準備を進めておりますので、ぜひご来場ください。

本年も明るい希望と期待を持って、皆様と歩んで参ります。関係各位のご健勝とご発展をお祈り申し上げ、新年のご挨拶と致します。